

渚西中だより

令和7年12月24日(水) 第4号
枚方市立渚西中学校
校長 野口 明郎

一人ひとりが輝いた「渚西中」の姿

校訓『自律・協調・努力』

本日、渚西中学校 2学期終業式を終えました。この2学期は、様々な学校行事だけでなく、普段の授業でも生徒の皆さんの素晴らしい頑張りや成長を改めて実感した学期でした。

文化祭では、準備や練習の中で、うまくいかないことや、思い通りにならないこともあったかもしれませんが、それぞれが自身の課題に向き合い、仲間とともに歩みを進めてくれました。テーマにあった「百折不撓」の精神を体現した今年の渚西中学校の皆さんでしか作れない、生徒の皆さんの思いが詰まった素晴らしいものでした。

更に、体育祭では、「有終の美～我らの花が咲く～」のスローガンのもと、素晴らしい花を咲かせてくれました。それぞれが違った良さをもつ花を咲かせたことで、渚西中学校の花は好みが変わっても、季節が変わっても常に花が咲き続ける・・・そんな学校の姿を見せてくれました。

また、普段の学校での取り組みも本当に素晴らしいものでした。先日行われた学校運営協議会の委員の皆さまも、皆さんの主体的に学びに向かう姿に感心されていました。ぜひ、2学期の頑張りや成長を令和8年のスタートとなる3学期につなげていけるよう、これからも生徒の皆さんを支援していきます。保護者の皆さまには、本校教育活動への変わらぬご理解・ご支援をいただき、ありがとうございました。令和8年もよろしくお願い申し上げます。

本校のブログでも学校の様子や情報を発信しています

【終業式での校長からの話の概略を紹介させていただきます】。

2学期に、校区の小学校との交流の機会がいくつかあった。1つは中学校見学会。もう一つは、校区の小学校で行った美術作品の展示。それぞれで「中学校の授業ってすごい」「難しいことをしている」。作品の展示も「すごくうまい」「中学生ってすごい」といった感想があった。

①「みんな成長している」

気づかないかもしれないが、皆さんは、この数年だけでも学校での学びの内容や学び方など成長している。2学期行った学校行事でも、おそらく小学生の時にはできない素晴らしさがあった。**成長の度合いや成長している部分はそれぞれかもしれないが「みんな成長している」ことは間違いない。**

②「みなさんは憧れの存在」

中学生になったら「こんな作品が作れるようになる!」「こんな作品を作れるようになりたい!」という小学生が目指す姿や目標・・・皆さんは「憧れの存在」になったと思う。憧れの存在や目標は人が成長する上で必要な要素。**目標や憧れがあるからこそ、その実現のために自分で考え行動する力が生まれる。**

明日から冬休み。令和8年が皆さん一人一人にとって充実した1年になるために、**学校教育目標にある「主体性を大切にしたい未来につながる学び」を実現してほしい。**将来、どんな自分になりたいのか?一人一人の人生をどう選択し、どう進んでいくのか決めるのは皆さん自身。この冬休みを皆さん自身で「憧れ」や「目標」を改めて考える機会にして欲しい。

